
国際教養学部国際教養学科 入学者受入れの方針

国際教養学部は、「中京大学の建学の精神」、「中京大学の教育の理念」、及び学部が定める「教育研究上の目的（理念・目的）」に賛同し、また、以下に示す知識・技能・意欲・態度などを有し、それを土台に学びを昇華させる意欲ある人を広く求めています。

〈入学者に求める知識・技能・意欲・態度〉

〔知識・技能〕

本学部での学びは、言語・歴史・文化・思想・社会に関する知見を深めて、世界の多様な国の人々と相互理解と交流を図り、国際協調に貢献できる国際的教養人を養成することを目標としています。その学びの基礎として広い視野と知識が必要となります。このため、高等学校段階において特に次のような学習に力を入れて取り組んでおくことが望まれます。

〈国語〉

本学部での学びにおいては、レポート作成、プレゼンテーション、ディスカッションなどが求められ、日本語で他者の考えを正確に理解し、自分の考えを伝える力が必要となります。さらに外国語を学ぶにあたって、多くの人にとって母語である日本語の十分な知識と運用能力が必要です。したがって高等学校課程における国語の学習が極めて重要となります。

〈英語〉

国際的教養人の養成を目指して、本学部では英語ともうひとつの言語を学びます。そうした外国語学修を進めるための基礎として、高等学校課程における「オーラル・コミュニケーションⅠ・Ⅱ」「英語Ⅰ・Ⅱ」「リーディング」「ライティング」の確実な学習が望まれます。また、入学前の英語運用能力を測るひとつの目安として、実用英語技能検定（英検）2級、TOEIC500点以上などが考えられます。

〈社会科〉

国際的な広い視野を得ることを目指す本学部の学びにおいては、日本と世界の歴史や地理、社会のしくみや思想、政治や経済に関する基礎的な知識が必要となります。高等学校課程における「世界史A・B」「日本史A・B」「地理A・B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」などを広く学習しておくことが望まれます。

〔意欲・態度〕

本学部では、大学での充実した学びを達成するために、以下のような入学希望者を求めています。

- 主体的に学習する意欲をもっていること。
- 世界と日本の言語や歴史や思想、国際社会の諸問題に関心をもっていること。
- 状況を冷静に分析する力、粘り強く考える力、柔軟な想像力をもっていること。
- 解決を必要とする課題を発見し、自ら解決できる能力を獲得する意欲と実行力をもっていること。
- 自己表現能力や他者とのコミュニケーション能力を高めたいと考えていること。
- 多様な文化とかかわりを持ち、国際社会で活躍し、貢献したいと考えていること。

〈入試選抜の方法〉

本学部に関心をもつ多様な学生が入学することを目指して、以下の表のような入試選抜を行います。

		前期・後期 日程	推薦入試		AO入試	グローバル 特別	特別入試
		A・M・F センタープラス センター利用	公募制推薦 (基礎 学力型)	指定校 附属校・ 併設校推 薦 (特Ⅱ 推薦)	AO		帰国生徒 留学生
知識 技能	高等学校で履修した教科科目について、基礎的な学力を有しているか。高等学校在籍時に検定試験を受け、資格等を取得しているか。部活動等で優秀な成績を修めたか。正確な日本語で「読む・書く・話す」ことができ、他者の考えを正確に理解し、自分の考えを伝えることができるか。	◎ 筆記試験 もしくは センター試験 で確認	◎ 筆記試験 で確認	○ 筆記試験 で確認	◎ 当日の プレゼンテー ション ・質疑応答 で確認	◎ 筆記試験 面接で 確認	○ 筆記試験 (小論文) で確認
思考力 判断力 表現力	自ら課題を発見し、その解決に向けて探究したか。成果等を表現するために、自分の考えをまとめ、相手に伝えることができたか。	△ 筆記試験 で確認	△ 筆記試験 で確認	◎ 志望理由 書 調査書 当日の面 接 で確認	◎ インターシート 当日の プレゼンテー ション ・質疑応答 で確認	○ 志望理由 書 当日の 面接で 確認	◎ 筆記試験 (小論文) 面接 で確認
主体性 多様性 協働性	主体性をもって、正課内外を問わず様々な活動に参加したか。ルールをまもり、多様な人々とチームワーク (協働) をつくることができたか。ベストを尽くすことができたか。相手に敬意をもって物事に取り組むことができたか。地域や国内外の社会とつながり、働きかけができるか。	△ 調査書 で確認	△ 調査書 で確認	△ 調査書 推薦基準 で確認	△ インターシート 当日の プレゼンテー ション ・質疑応答 で確認	△ 当日の 面接で 確認	△ 当日の 面接で 確認
募集定員 (全 110 名のうち)		70 名	10 名	16 名	7 名	7 名	若干名